

平成 29 年 9 月 23 日

南 の 風 2 4 7

南部ミニバスケットボール連盟

会 長 藤原 敬一

久しぶりにミニバスのお話です。神奈川県それぞれの地域で、神奈川県ミニバスケットボール秋季大会予選が始まりました。関東大会までつながるこの大会は、全国ミニ連の4校規定に抵触しないため、現在神奈川県の実力NO.1を決める大会と言っても過言ではありません。

横浜市秋季大会が始まりましたが、予選を兼ねた横浜市南部大会から感じたことを書きます。

9月2日（土）に、第4回の南部地区ミニ中高の指導書交流会が開かれましたが、その時にも話題に上ったことです。

まず、オフェンスの『エントリー』についてです。

皆さんご承知のように、エントリーのやり方にはパスエントリーとドリブルエントリーがあります。ミニバスのゲームを観ると、8割方ドリブルエントリーで攻撃が始まります。これには理由があります。ボールを運ぶためのリスク（ボールを失くさない）を軽減するためです。ミニバスの場合、10人制であること、また1Q、2Qは下級生を出場させなければならないチームが多いからです。ですから、パスをつないで運び、フロントコートに進入することはかなり困難になります。コーチとしては、安全にフロントコートに入るには、安心してボール運びを任せられる上級生のガードに託すわけです。

ドリブルエントリーの弱点としては、

①攻めるまで（フロントコートでの）時間が掛かる。

ドリブルはどうしてもパスよりボール運びに時間が掛かります。攻撃体勢をつくるのが遅くなるのです。そしてノーマルナンバーで攻めることが多くなります。

②ガードに加重的負担が掛かる。

決まったガードがボールを運ぶので、精神的にも体力的にもきつくなります。ゲーム全体で考えた時に、後半に集中力を削がれる原因になります。

③ガードがプレスされた時にスムーズに攻めることができない。

②とも関連しますが、相手がプレスやトラップを仕掛けてくると運びに時間を要し、30秒にも影響します。

パスエントリーについてです。

当然のことながら、ドリブルよりパスの方が速くボールを運べます。利点としては、フロントコートに早く入り、アウトナンバーで攻めるチャンスが増えます。またパスされるとディフェンスはターゲットを絞り切れず、対応が遅れノーマークをつくるチャンスが生まれます。

ただマイナス面として、ミニバスは経験が少ない選手が多いので、パッサーとレシーバーの能力（パスカ、ミートカ、キャッチスキル）が劣るとミスが頻繁に起こります。そしてパスエントリーはツーウェイ（パッサー⇄レシーバー）の関係なので、練習で定着させるのに時間がかかります。

私の考えです。3Q～4Qはパスエントリーで運ぶことを奨めます。ベストメンバーには、パスカ、ミートカ、レシーブカしっかり付けさせたいと願うからです。また、攻めの展開も速くなります。